

遙かなるクルディスタン (1999)

JOURNEY TO THE SUN [米]

REISE ZUR SONNE [独]

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 トルコ／ドイツ／オランダ

色彩 Color

時間 104分

初公開日 2002/11/02

公開情報 若松プロダクション=シネマスコール

【キャッチコピー】

一九九九年二月、ベルリン国際映画祭。上映は厳戒態勢の中で始まった。

【解説】

トルコのクルド人迫害をテーマにし、1999年ベルリン国際映画祭でベストヨーロッパフィルム賞と平和賞を受賞した問題作。純朴なトルコ人青年とクルド人青年の友情を軸に、トルコにおけるクルド民族の置かれた厳しい現実を描く。本作を鋭い視点で手掛けたのは、トルコを代表する女流監督イエシム・ウスタオウル。

メフメットはイスタンブールに暮らす西部ティレ出身のトルコ人。彼は生まれつき肌の色が濃いため、しばしばクルド人に間違われていた。ベルザンは東部ゾルドゥチ出身のクルド人。やはり差別・迫害の対象である。2人は、サッカーの観戦で興奮した暴徒に襲われたことがきっかけで知り合い、親交を深めていった。ある晩、メフメットは警察にクルド人過激派と誤解され、身に覚えのない拳銃不法所持の疑いで逮捕されてしまう。この事件がもとでメフメットは仕事を失う。そんな彼をベルザンは親身になって支えてくれるのだったが…。

【クレジット】

監督 イエシム・ウスタオウル Yesim Ustaoglu

製作 ベルーズ・ハシェミアン Behrooz Hashemian

脚本 イエシム・ウスタオウル Yesim Ustaoglu

撮影 ヤツェク・ペトリツキ Jacek Petrycki

音楽 ヴラコ・ステファノスキ

出演 ニューロズ・バズ

メフメット

ナズミ・クルックス

ベルザン

ミズギン・カパザン

アルズ